

手紙 一

宮沢賢治

青空文庫

むかし、あるところに一疋びきりゆうの竜がすんでいました。

力が非常ひじょうに強く、かたちも大層恐ろしく、それにはげしい毒どくをもっていましたので、あらゆるいきものがこの竜に遭あえば、弱いものは目に見ただけで氣を失うしなって倒たおれ、強いものでもその毒氣どくけにあたつてまもなく死しんでしまうほどでした。この竜はあるとき、よいところを起おこして、これからはもう悪いことわるをしない、すべてのものをなやまさないと誓ちかいました。

そして静しずかなところを、求もとめて林の中に入いってじつと道理どうりを考え、ていきましたがとうとうつかれてねむりました。

全ぜんたい体、竜というものはねむるあいだは形が蛇へびのようになるので

す。

この竜も睡ねむつて蛇の形になり、からだにはきれいなるり色や金色の紋もんがあらわれていました。

そこへ獵師りようしども共が来まして、この蛇を見てびつくりするほどよろこんで云いいました。

「こんなきれいな珍めずらしい皮かわを、王様おうさまに差さしあげてかざりにしてもらつたらどんなに立派りっぱだろう。」

そこで杖つえでその頭をぐっとおさえ刀でその皮をはぎはじめました。竜は目をさまして考えました。

「おれの力はこの国さえもこわしてしまえる。この獵師りようしなんぞはなんでもない。いまおれがいきをひとつすれば毒どくにあたってす

ぐ死んでしまう。けれども私はさつき、もうわるいことをしないと誓ったしこの獵師をころしたところで本当にかあいそうだ。もはやこのからだはなげすてて、こらえてこらえてやろう。」

すつかり覚悟がきまりましたので目をつぶって痛いのをじつとこらえ、またその人を毒にあてないようにいきをこらして一心に皮をはがれながらくやしいというこころさえ起しませんでした。

獵師はまもなく皮をはいで行ってしまいました。

竜はいまは皮のない赤い肉ばかりで地によこたわりました。

この時は日がかんかんと照って土は非常にあつく、竜はくるしさにばたばたしながら水のあるところへ行こうとしました。

このとき沢山の小さな虫が、そのからだを食おうとして出てき

ましたので蛇へびはまた、

「いまこのからだをたくさんの虫にやるのはまことの道のためだ。いま肉をこの虫らしくくれておけばやがてはまことの道をもこの虫らに教えることができる。」と考かえて、だまつてうごかずに虫にからだを食くわせとうとう乾かわいて死しんでしまいました。

死んでこの竜は天上にうまれ、後には世界せかいでいちばんえらい人、お釈迦しやくか様さまになつてみんなに一番のしあわせをあたえました。

このときの虫もみなさきに竜の考かえたように後にお釈迦しやくかさまから教おしえを受けてまことの道に入りました。

このようにしてお釈迦しやくかさまがまことのために身みをすてた場所ばしょはいまは世界中のあらゆるところをみたましました。

このはなしはおとぎばなしではありません。

青空文庫情報

底本：「ポラーノの広場」角川文庫、角川書店

1996（平成8）年6月25日初版発行

底本の親本：「新校本 宮澤賢治全集」筑摩書房

1995（平成7）年5月

入力：ゆうき

校正：noriko saito

2009年7月16日作成

2009年8月15日修正

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.w.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

手紙 一

宮沢賢治

2020年 7月13日 初版

奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>